

# まるりん通信

第159号 平成25年9月発行

公益財団法人 屋久島環境文化財団  
Tel.0997-42-2911 FAX0997-49-1018



## 第3回屋久島研究講座

# 『屋久島魚類大全』

### 「屋久島、川と滝と淡水魚」

講師 鹿野 雄一（九州大学工学部）

屋久島の様々な河川50地点を調査した結果、屋久島の淡水魚は、海水魚の多様性に比べると極めて貧弱です。このような、いわばストイックな淡水魚類相こそ屋久島の淡水生態系の真骨頂であるともいえるでしょう。なお、水田の魚であるドジョウやメダカはここ数年の調査で見つかっていません。情報をお持ちの方がいらっしゃれば、ぜひ当日教えてください。

### 「屋久島の魚類の多様性と特異性」

講師 本村浩之（鹿児島大学総合研究博物館）

2008-2009年に実施された鹿児島大学総合研究博物館をはじめとする国内10研究機関の共同調査の結果から明らかになった屋久島の魚類相とその特徴を紹介します。調査の結果、951種（24目112科382属）の海産魚類が記録され、このうち374種が標本に基づく屋久島からの初記録でした。

気になる方は当日お待ちしております。

開催日時 平成25年10月11日(金) 19:00~21:00

場所 屋久島環境文化村センター(宮之浦)

※入場無料 詳しくは文化村センター(42-2900)まで。



文化村センター交流ホール展示

## 酒巻澄江 写真展

### 『杜に生きる』

「1993年12月、初めて屋久島を訪れた。そこで見た原始の森の営み…与えられた場所で懸命に生きようとしている命の息づかい…すべてを包み込み、暖かく、優しい生命の気配に魅せられ何度も屋久島を訪れた。」

そんな気配を写したいと撮りためた写真24点を展示いたします。

期間：平成25年9月14日(土)~10月4日(金)

時間：9:00~17:00

(最終日は14時まで。期間中の休館日なし。)

場所：屋久島環境文化村センター(宮之浦)

※入場無料

※詳しくは文化村センター(42-2900)まで。



世界自然遺産登録20周年記念イベント

自然文化体験セミナー

## 島と生きる屋久島カルチャー

### 「千年たっても無名です。あなたの名前でデビューしたい」

白谷雲水峡に点在する名前が付いていない木を林野庁職員が案内し、その木にふさわしい名前を考えてもらうイベントです。もしかするとあなたの考えた名前が選ばれるかもしれません。

期日：平成25年9月23日(月・祝)

対象：小学4年生~一般 定員20名(先着順)

集合場所：役場安房支所前駐車場 7:50

村センター駐車場(宮之浦) 8:20

終了時間：15:00 白谷広場着予定

申込締切：平成25年9月18日(水)

※参加無料(お弁当をご持参ください)

※参加申し込みは研修センター(46-2900)まで。



屋久島環境文化村センターは9、10月全日開館します！

研修センターの休館日は、9月24日(火)、30日(月)、10月7日(月)、21日(月)、28日(月)





前回は、身近な場所で見ることができるコケをご紹介しましたが、今回は白谷雲水峡やヤクスギランドで観察できる、見た目で見分けられた覚えやすい名前のコケや、思わず笑ってしまうような名前のコケを・・・。

葉が一方になびいて全体が動物の尾に似ている「シッポゴケ」。葉の表面が油を塗ったようにテカテカしている「アブラゴケ」。表面にへび（蛇：ジャ）のウロコ状の模様がある「ジャゴケ」。「ウツクシハネゴケ」や、伝説の鳥「鳳凰」の尾に似た形から「ホウホウゴケ」と名付けられた、見た目も名前も美しいコケもあります。

それから「ムクムクゴケ」なんていう名前のコケも！全体的に柔らかくもこもこした感じがするこのコケを初めて見たときは「あ～！本当にムクムクしてる～！」と叫んでしまいました。

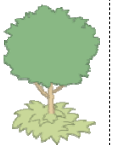
ところで、屋久島の大地のほとんどは花崗岩で形成されているため、水を蓄える力もなく、養分も決して豊富ではありません。このように樹木の生育に適しているとは言えない環境で、どのようにして豊かな森が形成されているのでしょうか。その答えの一つが「コケ」なのです。

よく雲や霧に覆われる屋久島の森。コケは、この雲や霧が運んでくる水のシャワーを浴びながら、岩の上でも生長・繁茂しつづけ、やがて岩塊や倒木、樹木の幹や枝を包んでいきます。そして、そのコケの上に種子を落とした植物は、たくさんの水分を含んだコケから水をもらいながら生長し、屋久島の森を作り上げているのです。

見た目はとても小さなコケですが、屋久島の森を支える大きな力になっているんですね。

今までとはちょっと違う視点で森の中を歩いてみると、また新しい森の姿に出会えるかも知れません。みなさんも是非お気に入りの『コケ』を探してみたいはいかがでしょうか。

参考図書：屋久島のコケガイド（屋久島環境文化財団）、フィールド図鑑コケ（東海大学出版会）、コケの世界（あかね書房）



### 財団活動報告

○研究講座「屋久島の昆虫～こんなことがわからない～」 8月18日（日）村センターで金井先生による研究講座を開催しました。屋久島の昆虫のわかっていないこと・いないことについて学べる内容で、大人から子どもまで質問の声が上がり大盛況でした。



### ○「やく島で、こんちゅう展」

8月13日～9月1日まで昆虫展を開催しました。「顕微鏡で見た虫の形に感動した」「昆虫は苦手だったが少し好きになった」「今度はもっとすごい昆虫が見たい」など様々なご感想を頂きました。ご来場して頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。



### ○鹿児島大学ホームステイ受入事業

8月28日～30日、台風の影響で当初の予定より1日短くなりましたが、留学生10名が屋久島を堪能しました。

留学生を受け入れてくださった平内の方々も「とても楽しかった」「また来て欲しい」と別れを惜しんでいました。



### 屋久島を語る

アテンダント 田中 萌子  
（夏季臨時アテンダント）



私は、今春から屋久島を出て離れた場所で生活しています。離れてみて、屋久島の本当にいいところを知ることができました。それは人情です。屋久島ではすれ違う時知らない人にでも当たり前のように「こんにちは」と挨拶し「おかえりなさい」などの暖かい言葉をかけてくれます。そのような声をかけてもらえる心が温かくなり足取りも軽くとっても良い気分になります。私も、屋久島出身の一員として、この暖かい人情をいつまでも大切にしていきたいと思います。